

NEWS RELEASE

CDP から「気候変動」に続き最高評価を獲得
CDP サプライヤー・エンゲージメント評価で最高評価の「リーダー」に選定

三菱電機株式会社は、国際的な非政府団体 CDP から、「サプライヤー・エンゲージメント評価」において最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されましたのでお知らせします。サプライヤー・エンゲージメント評価での最高評価の獲得は 5 度目です。

「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」は、サプライチェーン全体にわたる温室効果ガス排出量削減や気候変動リスク低減に対する行動と戦略が特に優れていると認められた企業が選出されます。

なお、当社は今年度、「気候変動」分野においても、最高評価である A リストに選定^{※1}されています。

※1 2021年12月10日広報発表 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2021/1210.html>



「環境への取り組み」について

三菱電機グループは、2050年を見据えた「環境ビジョン 2050^{※2}」のもと、「大気、大地、水を守り、心と技術で未来へつなぐ」を「環境宣言」として掲げています。2021年6月には、設計・開発から原材料の調達、製造、販売、流通、使用、廃棄に至るまで、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出の削減を推進し、2050年の排出量実質ゼロを目指す新目標を発表しました^{※3}。

今後もバリューチェーン全体の環境負荷低減、製品・システムの省エネ化や先進的な社会インフラの構築を通じて、脱炭素化をはじめとする持続可能な地球環境の実現に貢献してまいります。

※2 2019年6月13日広報発表 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2019/0613-a.html>

※3 2021年6月3日経営戦略説明会 <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/news/2021/pdf/0603-a1.pdf>

CDPについて

CDPは企業や都市などの環境への取り組みを調査・評価・開示する国際NGO（非政府団体）です。全世界で590以上の機関投資家（運用資産総額110兆米ドル）からの支持を受け、「気候変動」「ウォーター」「森林」に関する質問票を企業に送付し、情報開示を求め対策を促すことを主たる活動としています。